

ありがとうの法則

世の中には、数えきれないほどの言葉があります。その中で最も影響力のある言葉は何でしょう。それは、「ありがとう」の5文字ではないでしょうか。「ありがとう」には、どんな力があるのでしょうか。

「ありがとう」という言葉の力を調べるために、次のような実験を行った人がいます。2つのペットボトルを準備し、一つには「ありがとう」、もう一つには「ばかやろう」と書いて東京都の水道水を入れました。

一晩置いた水を凍らせて結晶を撮影すると、「ありがとう」と書いた水道水には宝石のような美しい結晶ができました。一方のばかやろうと書かれたほうは、かわいそうなくらい無残（むざん）に変形しました。いろいろな水を使って実験を繰り返しましたが、結果は同じでした。

この実験を行った人は、さらに考えました。人間の体は70%が水でできています。だとすれば、「ありがとう」の言葉をたくさん投げかければ、この実験と同じように体内の血液が変わり、健康を維持（いじ）できるのではないかと考えたそうです。

確かにそうかもしれません。皆さんのまわりに、よく「ありがとう」や「ありがとうございます」を口にする人はいませんか。その人は、どんな人ですか。生き生きとしていませんか。幸せそうではありませんか。そして、笑顔が似合う人ではありませんか。

皆さんの中にも、「ありがとう」や「ありがとうございます」をごく自然に言える人がたくさんいます。言われたほうは、どんな気持ちになるでしょう。何だか幸せなうれしい気持ちになりませんか。

「ありがとう」を口にしていると、まず心が豊かになります。そして、人間関係も円滑（えんかつ）になっていきます。「ありがとうございます」と言われて怒っている人はいないでしょう。言われると、気持ちがあたたかくなってきます。それは、家族や友人など、距離が近い人でも同じです。あるいは、普段から一緒にいる人だからこそ、「ありがとう」が必要なのかもしれません。

「ありがとう」という言葉を口癖（くちぐせ）のように唱（とな）えていると、どうなるのでしょうか。きっと、自分でも信じられないような出来事が起きたり、健康ばかりか運命までもがよい方向に向かうかもしれません。これが“ありがとうの法則”です。

人が集団の中で生活していると、「ありがとう」や「ありがとうございます」と口にできる場面はたくさんあります。それは、学校でも同じです。家庭も同じです。これからは、今まで以上に「ありがとう」を相手に伝えてみてください。